



年を重ねても「まだ自分にもできることがある」と感じられると、毎日の暮らしが充実したものになります。このセミナーでは、「健康寿命」だけでなく、「社会とのつながり」をもち、満足感や生きがいをもって生活できる期間“＝「貢献寿命」という新しい考え方に触れます。

心もからだも元気になれる「貢献寿命」について、一緒に考えてみませんか？

参加無料
定員 **100名**
先着順

9/10(水)
14:00-16:00
受付開始 13:30～

会場 福井県立図書館 多目的ホール
福井市下馬町51-11

対象 シニア世代を中心とした
県民どなたでも



第一部 14:10-14:50(40分間)

貢献寿命の延伸でより豊かな人生へ
～健康寿命の先に目指すもの～

すがわら いくこ
菅原 育子氏 武蔵野大学 ウェルビーイング学部 教授、
東京大学 未来ビジョン研究センター 客員研究員



東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士(社会心理学)。専門は社会老年学、社会心理学。高齢者の社会参加や社会とのつながりとウェルビーイング(健康、幸福)との関係について研究している。多様な社会とのつながりを維持、促進する社会のしくみづくりに関心を持ち取り組んでいる。
著書に『「老年幸福学研究」が教える 60歳から幸せが続く人の共通点』(前野隆司との共著、青春出版社)

第二部 15:00-15:40(40分間)

貢献寿命を延伸する地域をつくる
リビングラボ

ひやま あつし
檜山 敦氏 一橋大学大学院 ソーシャル・データサイエンス研究科 教授
東京大学 先端科学技術研究センター 特任教授



東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。博士(工学)。専門は人間拡張工学、バーチャルリアリティ、ジェロテクノロジー。100年の一生を通じて参加できる社会を目指し、一人ひとり、そして地域の「できる」ことを増やすテクノロジーの研究開発に取り組んでいる。シニアの柔軟な働き方を推進するジョブマッチングプラットフォーム「GBER」や、心身を活性化するVRシステムなどの研究を、社会実装へ向けて実証展開している。著書に『超高齢化社会2.0～クラウド時代の働き方革命～』(平凡社)

第三部 15:40-15:50(10分間)

取組報告 わたしのセカンドライフ きらめきくらしのサポーター

お申込みは、二次元コード、もしくは県民生協コールセンターまで

主催



県民せいきょう **coop**

コールセンター ※おかけ間違いがないように、番号をお確かめください



0120-016-165

申込締切 **9/8月**

月-金 AM8:30-PM8:00
土 AM9:00-PM5:00



お問い合わせ

福祉事業部
0776-52-8466

お問い合わせ
No.004172